

四日市で安パト

東海地区コンクリ送事業組合
リ送事業組合

東海地区コンクリート送有限責任事業組合（長谷川員典理事長）は14日、三重県四日市市生桑町で医療法人が建設中の緩和ケア病棟整備工事で、元請け施工会社が行



うコンクリート打設現場を対象に安全・技術パトロールを実施した。写真

真。

パトロールには同組合から安全技術委員長の住井次郎氏ら4人が参加。同現場で土間コンクリートを打設するポンプ車におけるアウトリガーの設置状況など安全確保に関わる約20項目の他、重要な点検項目を記したステッカーをポンプ車の操作パネル近くに貼

り付けているかどうかを確認。さらに、作業手順書やコンクリートポンプ車の定期自主検査記録表、資格証などを納めて各組合員が作業現場に携帯する組合オリジナルの「安全バック」を確認した。同組合では月1回のペースで安全・技術パトロールを行っている。